

平成29年度BSCフォローアップシート（年度末評価用）

病院(所属)名: 精神医療センター

区分	戦略的目標	BSCの当初目標設定内容				年度末進捗状況			評価・今後の対応
		業績評価指標	前年度実績	数値目標	主なアクションプラン	アクションプラン実績	数値目標実績	段階評価	
顧客の視点	政策医療の充実	措置鑑定医の派遣 (院内鑑定を含む)	61	70	1 司法機関・保健所・警察・消防・精神科救急情報センター等との連携強化	関係機関と連携し、計画どおり進行している。	73	B	司法鑑定の要請には断ることなく受け入れるなど、司法・行政機関等と緊密に協力できた。
		救急情報センター通報入院患者数	17	15	2 救急事業と空床確保状況の分析と評価 ・空床確保システム運用実績の分析と改善	精神科救急システムでの患者受入れを積極的に行っている。	27	A	週3日朝、急性期病棟で医局医師全員と病棟師長とで、ベッドコントロールについて協議し、緊急入院に備えて、空床(保護室、個室)確保の維持に引き続き努めていく。
		救急・緊急診療の受入れ件数	77	110		外来受診は完全予約制であることから、これまで本人・家族からの予約なしでの当日受診の問合せに対応できなかったが、予約外の新患患者の当日受診をはじめ、患者の受入れを図った。	79	D	
		アルコール延べ患者数(外来)	2,788	2,850	3 県アルコール健康障害対策推進計画における専門医療機関としての役割の検討	当センターは、アルコール依存症専門医療機関の基準には該当している。	3,006	B	外来アルコール患者数は目標値を上回っており、引き続き積極的に受け入れていく。今後は、薬物、ギャンブルの依存症専門医療機関に必要な研修等を積極的に受講していく。
		思春期延べ患者数(外来)	3,328	3,100	4 思春期外来運営システムの拡充	思春期診療検討委員会を立上げ、月1回開催するとともに、公開カンファレンスも開催し、職員のスキルアップを図っている。	3,637	B	外来思春期患者数は目標値を上回っている。思春期外来のあり方として、摂食障害、発達障害について連携体制を推進する。
	司法精神医療の充実	退院者数	6	7	5 医療観察法ネットワーク会議を通じた関係機関との連携強化	対象者の受入れは5名、退院者は9名であった。開棟以来(H25年11月)23名が社会復帰している。	9	A	精神疾患により重大な他害行為を行った人に対して、手厚い専門的な医療を提供するとともに、医療観察制度に基づく指定入院医療機関として、保護観察所の支援のもとで、保健所・関係機関と連携を図り社会復帰を促進している。
	地域医療・福祉との連携強化と支援	平均在院日数(1, 2病棟)	88.6	90日以内	6 退院支援体制の検討及び地域関係機関との連携強化	多職種によるカンファレンスを実施し、退院に向けての支援体制を整えている	84.5	B	引き続き、多職種による退院促進をセンター全体で取り組んでいく。
		長期入院者(1年以上)の退院者数	7	7	7 多職種によるカンファレンスの実施		11	A	
		紹介率	39.8%	42.5%	8 精神科クリニックや病院との連携強化	常勤医師の初診担当日を月、金曜日に増やすことにより、予約枠が拡大され受診待ちの日数が短縮された。	37.6	C	地域医療連携のより一層の推進のため、今後、クリニックや一般診療科との地域医療連携の充実を図ることとする。
		逆紹介率	33.2%	36.0%			36.5	B	
		新規入院患者数(1, 2病棟)	301	313	9 地域医療との連携強化	医局は、保健所において専門相談を実施するとともに、地域医療連携係は、市町や刑務所での講演を実施した。	322	B	保健所での専門相談や市町等への講演などより一層の充実を図る。
	地域精神保健福祉活動への支援活動回数	54	75	9 地域保健所等との連携強化 ・市町への講演活動	52		D		
	患者サービスの向上	入院患者満足度調査評点(1, 2病棟)	3.7	4.5	10 患者満足度調査の実施・結果分析・業務改善	11月1日～11月30日、調査実施	3.6	C	調査結果については、サービス調整委員会で分析し、必要な改善等を図っていく。
		入院患者満足度調査評点(3病棟)	3.1	4.5		10月2日～10月13日、調査実施	3.6	C	
		外来患者満足度調査評点	3.7	4.5		10月2日～10月6日、調査実施	3.8	C	
作業療法満足度調査評点		4.1	4.5	10月2日～10月16日、調査実施		3.4	C		
デイケア満足度調査評点		4.2	4.5	10月2日～10月16日、調査実施		4.3	C		

平成29年度BSCフォローアップシート（年度末評価用）

病院(所属)名: 精神医療センター

区分	戦略的目標	BSCの当初目標設定内容				年度末進捗状況			評価・今後の対応	
		業績評価指標	前年度実績	数値目標	主なアクションプラン	アクションプラン実績	数値目標実績	段階評価		
財務の視点	収支改善	経常収支比率	101.0%	100%	11	経営状況の院内周知	管理会議等において、決算、予算、月次損益など随時報告し、経営状況の院内周知に努めている。	102.5%	B	引き続き、会議等での報告に努めるとともに、院内電子掲示板等を活用するなどタイムリーな情報提供の方法を検討する。
		医業収益に占める職員給与費の割合	92.3%	91.0%			89.9%	B		
	急性期患者対応の拡大	病床利用率(1, 2病棟)	71.2%	78.0%	12	・地域生活支援部との情報共有 ・病棟、外来間の情報共有 ・空床確保の情報共有	入院患者数が増えているが退院患者も増え、これにより在院日数が短くなり、病床利用率は前年度実績よりは上昇した。	75.6	C	アルコール関連等の入院患者を増やすため、一般病院との連携を強化していく。
内部プロセスの視点	医師確保の推進	常勤医師の定数に対する充足率	64.3%	64.3%	13	医師招聘に向けた方策の検討と情報発信	研修医の受入れ拡大、医師による個人的な働きかけの強化、大学への要請の継続など情報発信の強化により取り組んでいる。	64.3	B	引き続き早期確保に向けて取り組んでいく。
	医療安全の徹底	アクシデント件数(レベル3b以上)	3	3以内	14	・インシデント・アクシデントの分析・対策・評価 ・医療安全研修への参加促進	活発に医療安全活動を実施したが、アクシデント(3b以上)が6件発生した。	6	D	早急に対策が必要な内容に関しては、医療安全ニュースを発行するなど、職員に周知している。
		アウトブレイク件数	0	0件	15	・感染リンクナースによる感染防止活動の実施、評価 ・感染対策研修会への参加促進	感染管理認定看護師と病棟リンクナースが協力し、スタッフ、患者への指導を行い感染対策の普及を行っている。	1	C	感染管理認定看護師が、病棟リンクナースに指導、助言することで、目標を共有し各自がリーダー意識を持つことが出来ている。
	業務改善の推進	1人・月当たり時間外勤務時間数	9.6	20	16	・各種委員会の見直し ・時間外勤務時間数の削減	案件ごとに不定期に開催していた委員会の開催を見直し、年4回とした。(H28年度8回) 時間外勤務実績時間数は、昨年度月9.6時間が8.6時間と削減できている。	8.6	B	毎月の管理会議において、各部署の時間外勤務の実績を報告し、引き続き削減に努める。
職員満足度の向上	「今後もこの病院で働きたい」肯定者割合	81.3%	80%	17	職員満足度調査の周知徹底、調査結果の分析と改善に向けた方策の検討	職員意識調査を実施した。	78.1	C	意見の反映に努めていく。	
学習と成長の視点	職員教育の充実	学会・論文等発表数	26	20	18	論文・学会発表、専門誌への投稿の奨励	今年度は本県で学会が開催されなかったことから、発表等が伸びなかった。	28	B	職員が積極的に情報発信出来るように引き続き努める。
		専門性を高める研修の実施	27	30	19	委員会主催の研修計画の策定、情報提供	職員が積極的に参加出来るように努めた。	33	B	数値目標に達成していくよう、引き続き研修を計画し、開催周知に努める。